

12.1.16  
市ポスト

### 3・11以前とそれ以後の「記憶と記録」を募集します。

あなたが、この災害で体験したことや、伝えたいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを自由に書いてください。表現・書式・体裁・数量は問いません。住民の本当の声として、2月11日の会議とインターネットで発表・記録します。

●受付箱 南相馬市役所 1階までお持ちください。

E-mail/Fax受付 record@minamisoma-fukushima.jp / Fax 03-5730-6080 (東京事務局)

個人情報を無許可で公開することはありません。また、住所・電話番号・E-mailは公開いたしません。どなたからいただいた情報がわかるよう、太枠の事項を記入ください。匿名の場合、公開情報として扱えない場合があります。

氏名、 /	年齢 70	住所 南相	事務局からの連絡のため。
2月11日の会議の参加について 参加します ・ 参加しません		電話番号 携帯	E-mail

原子力の平和利用を謳い始まった原子力発電。安全神話は脆くも崩れました。「原発のリスク」を将来世代に遺すことを杞憂し続けてきました。さらに、大巖地区に産廃施設の建設があり「ダイオキシンのリスク」が持ち上がり、この「二重のリスク」に不条理を感じてきました。

共に、「生命と水」に大きな影響を与えることは、学術的にも明白な事実顕証が示されていることです。「安心安全な町づくり」にとって最も大切な問題がこの「生命と水」を守ることではないでしょうか。そのためには、脱原発・脱産廃施設は、当市における生命線ではないでしょうか。

「想定しなかった」事実が次々と明らかにされてきました。国策による管理体制下にある大企業でさえこの為体です。産廃の不確か企業の運営については万全な対策を講じることを、新めて考えるべきであり、でき得れば、施設ができないことが最善だと思います。

何年・何十年・何百年・何万年という単位をどのように担保していけるのでしょうか無責任に、将来世代、未来世代にリスクの先送りすることなく、再生した自然環境の中子々孫々が「人を思う、利他の心を持って、報徳思想の再現に努力する下地を築き上げて行くことが、私たちに課せられた責務ではないでしょうか。

このチラシやウェブサイトを書いてある情報を、原発災害などで避難して今は近隣にいない方にもお伝え下さい。

www.minamisoma-fukushima.jp

南相馬世界会議2012実行委員会 事務局 〒975-0005 福島県南相馬市原町区二見町1丁目6番地  
受付窓口:record@minamisoma-fukushima.jp 電話:03-5730-6080(東京事務局)

### 3・11以前とそれ以後の「記憶と記録」を募集します。

あなたが、この災害で体験したことや、伝えたいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを自由に書いてください。表現・書式・体裁・数量は問いません。住民の本当の声として、2月11日の会議とインターネットで発表・記録します。

●受付箱 南相馬市役所 1階までお持ちください。

E-mail/Fax受付 record@minamisoma-fukushima.jp / Fax 03-5730-6080 (東京事務局)

個人情報を無許可で公開することはありません。また、住所・電話番号・E-mailは公開いたしません。どなたからいただいた情報がわかるよう、太枠の事項を記入ください。匿名の場合、公開情報として扱えない場合があります。

氏名	年齢	住所	事務局からの連絡のため。
	男・女 74才	唐桑巴小池	
2月11日の会議の参加について		電話番号	
<input checked="" type="checkbox"/> 参加します ・ <input type="checkbox"/> 参加しません		E-mail	

1. 国、東電は原発爆発時に事実を公表することなく避難させ、危険な地域に長期間放置したため。(スピーディーに指示と拡散方向が示されて居たかにもわからず、生かされなかった)

2. 3月14日と記憶しているが、原発の2回目の爆発時=南相馬市に派遣されていた警察官、自衛隊員が我先に(住民には知らせず)避難した事実がある。(東市議会議員の多くが議員が見て一歩前には知らせなかった)国を守る、国民を守る為の組織であるが、自分の使命である答に義務を遂行せず現場放棄もして居るから、一方で表彰等行なって居るが、我々には納得出来ない。

3. 原発事故を起した国、保安委員会、東京電力の責任者は、いまだに責任をとり居ない。公務員は責任をとりたくないという言い訳ばかり。

4. 除染した場所(地域)場所を明示すると、南相馬市、小高、金谷、地倉野又は神田、柳田等(各地所武隈山脈東端)入山するのも難しい。又、地倉野、西隣は唐桑根(浪江)地蔵があり、高線量地蔵の山地の除染をどう考えて居るのかを知りたいが。

このチラシやウェブサイト(浪江)に書いてある情報を、原発災害などで避難して今は近隣にいない方にもお伝え下さい。

www.minamisoma-fukushima.jp



12.1.16  
市役所

### 3・11以前とそれ以後の「記憶と記録」を募集します。

あなたが、この災害で体験したことや、伝えたいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを自由に書いてください。表現・書式・体裁・数量は問いません。住民の本当の声として、2月11日の会議とインターネットで発表・記録します。

●受付箱 南相馬市役所 1階までお持ちください。

E-mail/Fax受付 record@minamisoma-fukushima.jp / Fax 03-5730-6080 (東京事務局)

個人情報を無許可で公開することはありません。また、住所・電話番号・E-mailは公開いたしません。どなたからいただいた情報がわかるよう、太枠の事項を記入ください。匿名の場合、公開情報として扱えない場合があります。

氏名	年齢	住所	事務局からの連絡のため。
男(女) 67		南相馬市	
2月11日の会議の参加について		電話番号	
参加します ・ 参加しません		E-mail	

25年前に当地に家を建てた時、初めて原発が近くにある事を知った。以来、「もしも」という事、常に頭の中にある。重要書類や大切なモノは、どこかにリュックサックに入れておいた。地震発生時、「原発が危ない」と私は強いていた。しかし、この時実は津波で電源がアウトにしているとは知らず(もったいなく、単に配管のつなぎ目から外れた)。折れたパイプは放射能物質がもたせ、大変な事に思っていた。当時に知っていた情報は、市民に十分な情報もなかった。3日間が過ぎた。

15日に合く何と言っていたのか、聞くとこれはい。スピーカーの音。庭に何度も出て来て耳を刺す。聞こえ、あつと「屋内退避」と言っていた。この時初めて当時の役所は、「原発」で大変な事に思っていた。市民に緊急事態発生を知らせるシステムが壊れた。車を知り、慌然とした。火事。夜中にサイレンの音で目を覚まし、重要書類を思い出した。……

政府の「どこにでも……から、勝手に避難せよ」という態度には呆れた。国民の生命と財産を守るには、国でなければ、個人の判断で死ぬ、とは恐れ入った。病人を抱えていた人は逃げずに逃げた。自宅にいた。食料も水も無く、「兵糧攻め」で死ぬのかもしれない人はいない。本当に情けない。

16日に電話で通じて、17日に当地を脱出した。仙台空港はアウトで、山形空港まで来た。大雪に悩まされた。大雪に悩まされた。羽田空港には夜中の2時に着く始末。翌日は3日前に全線開通した。九州新幹線も熊本へ。

西日本と東日本の「原発大事故」の意識の違いは、はっきり分かった。関西の東電のテレビ番組で、放射能汚染をネタにして大笑いしていた。意識の違い。人間、死んで自分自身は、事起るとは、物事を深く考えられぬ。悲しくも人間の性は、はっきり分かった。

10年目に2代と孫が出来る。祖母の住んでいた土地に遊びに来た。子供は、不草か!! 大都会の人には、想像もつかぬ事がある。

このチラシやウェブサイトを書いてある情報を、原発災害などで避難して今は近隣にいない方にもお伝え下さい。

www.minamisoma-fukushima.jp

南相馬世界会議2012実行委員会 事務局 〒975-0005 福島県南相馬市原町区二見町1丁目6番地  
受付窓口: record@minamisoma-fukushima.jp 電話: 03-5730-6080 (東京事務局)

112.1.16  
市ポスト

### 3・11以前とそれ以後の「記憶と記録」を募集します。

あなたが、この災害で体験したことや、伝えたいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを自由に書いてください。表現・書式・体裁・数量は問いません。住民の本当の声として、2月11日の会議とインターネットで発表・記録します。

●受付箱 南相馬市役所 1階までお持ちください。

E-mail/Fax受付 record@minamisoma-fukushima.jp / Fax 03-5730-6080 (東京事務局)

個人情報無許可で公開することはありません。また、住所・電話番号・E-mailは公開いたしません。どなたからいただいた情報がわかるよう、太枠の事項を記入ください。匿名の場合、公開情報として扱えない場合があります。

氏名	年齢	住所	事務局からの連絡のため。
	男( )女( ) 70	原町	
2月11日の会議の参加について		電話番号	
参加します ・ <u>参加しません</u>		E-mail	→

私の家は20<sup>区</sup>けん内とけん外とのかえに有ります  
 畑半分が20<sup>区</sup>けん内。目の前には立入禁止の看板がものもの  
 しく立っています。ひびきさきかよもどって来た月の朝の状況を見  
 た時はショックでした。そのためか見物の人が右えません。  
 予比、新聞、ラジオ、外国の人達と、いろんな人が取村に来て  
 ます。私のおぼつかない話に耳をかたむけ今の思いを外にむけて  
 発信してもよえることには感謝しています。  
 でも最初はバリケードの前でベースで写真を撮ったり、ふざけあつたりし  
 ているのを見て、ここは見世物じやないひびきしている人達のこと少しでも  
 考えたことあるのかとはよが立つことも有りです。  
 何を憂うないのよ20<sup>区</sup>けんないだけで家があつてもはいれなひびきて  
 くやいでアよぬ  
 でもここにいられたばかりにひびきすることもひびき有りです。防犯のた  
 めに山の道が封鎖される時は(20<sup>区</sup>けん内に入るわけ道)はその部落の人達  
 ほうよまれ私の家ほど有り人で不共人もいます。  
 立入禁止区域に入つて見つかると、私の家まで通報する人ひびきないか  
 とよがゆれすし。  
 いろんなことがゆにえよまてほんどうにひびき思いやしています  
 今の私のぬかひびき1月も早く皆んなが家にもどれることゆれをけでア  
 このチラシやウェブサイトを書いてある情報を、原発災害などで避難して今は近隣にいない方にもお伝え下さい。

www.minamisoma-fukushima.jp

南相馬世界会議2012実行委員会 事務局 〒975-0005 福島県南相馬市原町区二見町1丁目6番地  
受付窓口: record@minamisoma-fukushima.jp 電話: 03-5730-6080 (東京事務局)